



2017年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今号では改めまして、なぜエネルギー会社が省エネルギーを推進しているのか、「実証の背景と目的」についてお伝えいたします。

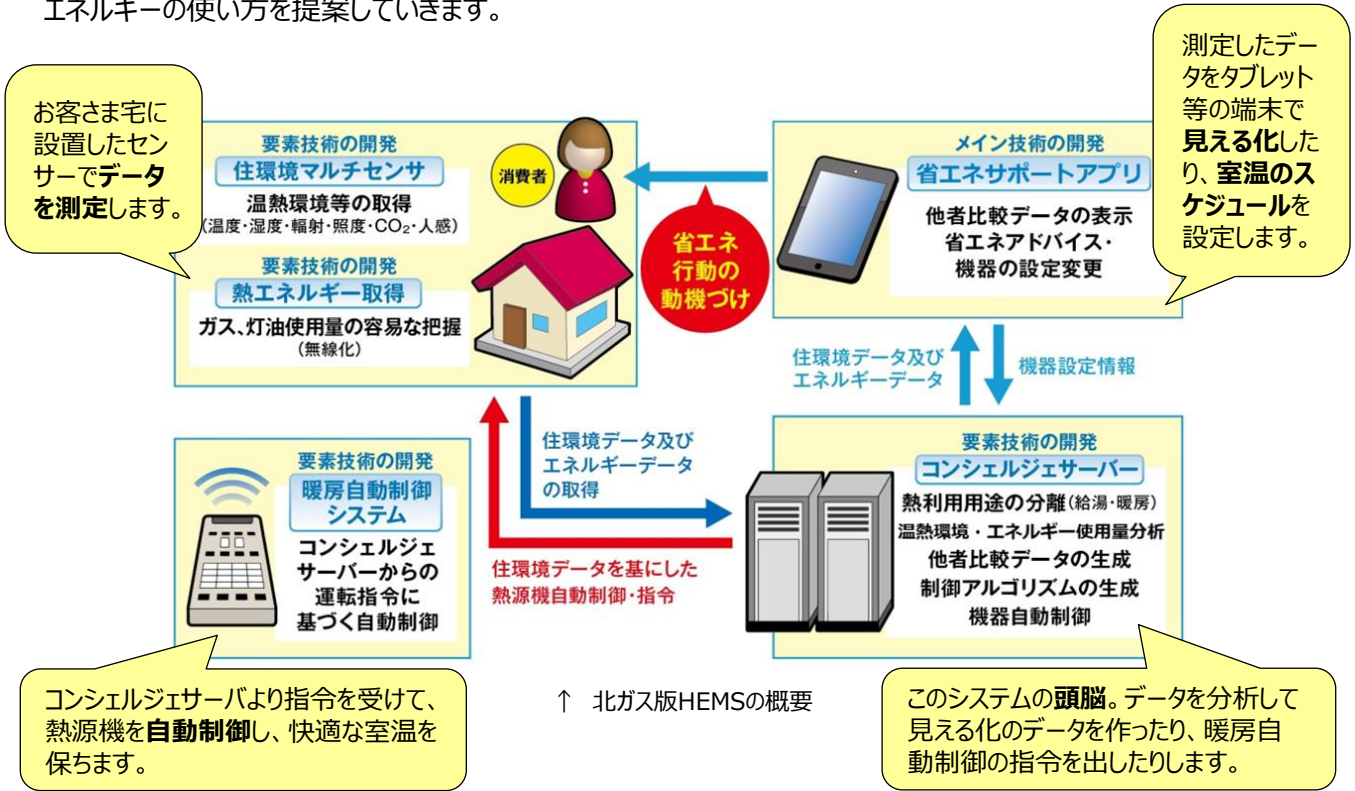
テーマ② 実証の背景と目的

北海道は未だ灯油文化が根強く、天然ガス普及拡大の余地は依然として大きく残っています。そして、積雪寒冷地という特徴から、関東に比べて暖房のエネルギー消費量はおよそ3.7倍というデータもあり、CO2排出量が他地域よりも多い現状があります。さらに、3.11以降、二度の電力料金値上げを経験しており、省エネ志向が強いことも特徴です。

このような地域特性を踏まえ、持続可能な社会を支えるエネルギー高度利用モデル、つまり、「**最小のエネルギーで、最適な環境を生み出すエネルギーモデル**」の実現が、北ガスグループの果たすべき役割であると認識しています。

デマンドサイドのエネルギー管理による省エネ・省CO2の推進

目指すエネルギーモデルの実現に向けて、大きな柱と考えているのが「**お客さまサイドでのエネルギー管理**」です。その一環として、北海道ガスでは「**北ガス版HEMS**」の開発を進めています。北ガス版HEMSでは、ICTと機器制御技術を駆使し、お客さま一軒一軒に適切な省エネアドバイスを通知したり、設定したスケジュールにそって暖房を自動的に調節したり、といった機能を搭載する予定です。お客さまの負担にならず、無駄のないエネルギーの使い方を提案していきます。



次回は・・・「**実証モニターさまの属性**」についてお届けする予定です！